

# 令和6年度 園経営計画 足立区立東綾瀬保育園

園長 増田 久美

## 1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもの人権や主体性を最大限尊重し、養護と教育を一体的に提供する。
- (2) 子どもたちの健やかな成長のために、自らの保育を振り返り学び合う保育者を育成する。
- (3) 保護者と地域に寄り添い、地域の子育てを支える拠点としての役割を果たす。

## 2 園の現状

- (1) 子どもたちは保育者の見守るなか、主体的に園庭や室内、共有スペースなどで友達と一緒に考えたり工夫したりしながら充実した遊びを展開している。
- (2) 保育者は日々の保育内容を省察するとともに、子どもたちの安全と主体的な遊びを保障するために学び合い、成果を実践に活かすことができるようになってきている。
- (3) 日々の活動の記録を保護者に発信することにより、子どもの姿だけでなく、活動にこめられたねらいや保育者の意図も理解してもらえるようになってきた。

## 3 今年度の重点的項目

<b>重点的に取り組んでいきたい事項－1</b>	子どもの主体的な遊びを保障する中で、一人一人の発達や興味・関心に合わせた遊びの環境を整え、健全な心身の発達を促す。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもたち一人一人の興味、関心に合わせた遊びの環境を考えたり工夫したりする。	ア 子どもからの発信を受け止めながら、子どもの要求と発達のバランスを捉え、必要な環境設定を行う。 イ 教材や玩具・安全な保育環境についての研究を継続する。
(2) 一人一人の子どもの発達や個性に合わせた安全な保育を実施する。	ア 子どもの主体的に遊ぶ姿をよく観察することにより、一人一人の発達や行動の特性を理解し、適宜環境の再構成を行うなど、子どもに合わせた安全な保育を実践する。
<b>重点的に取り組んでいきたい事項－2</b>	職員が、互いに専門性を高めながら支え合い、子どもの心情や発達に応じた保育をチームで展開する。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 多角的に子どもの姿を捉え、柔軟な保育をチームで展開する。	ア 保育者同士が、自らの保育を省察しながら対話することにより、様々な角度から子どもの姿を捉え、一人一人の発達や心情に応じた保育を実践していく。
(2) 主体的に課題に取り組み、保育を実践研究する職員集団を育成する。	ア 個々の職員が、専門性の向上や危機管理等、自己の課題を意識し、解決への意欲を高めていく。 イ 事例の省察や研究を重ね、互いに切磋琢磨し合う職員関係を築く。研究した保育内容を区内外に発信し、更なる専門性の向上を目指す。
<b>重点的に取り組んでいきたい事項－3</b>	保護者や地域に保育内容を積極的に発信し、地域全体の子育てを応援する。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) ICTを活用し毎日の保育内容を保護者に配信する。	ア 配信した内容を日々の保護者との会話の題材とし、発信が一方通行にならないようにする。 イ 保護者が他クラスの活動内容も見られる工夫をする。
(2) 地域に保育資源を積極的に提供し、地域の子育てに貢献する。	ア 園庭開放（毎月2回）の実施や施設公開、人材派遣などの要請に応え地域の子育てに貢献する。